

6. 横浜市資源循環局訪問報告

- 1 訪問日 平成23年6月14日(火)
- 2 対応者 横浜市資源循環局 職員3名
- 3 訪問者 環境・緑化部会 3名
事務局 1名
- 4 調査対象
 - ・生ごみマイスター(生ごみ堆肥化)実証実験
 - ・家庭系生ごみガス化実証実験

(1) 横浜市のごみに対する考え方

- ①「横浜G30プラン」は当初目標を達成
(平成22年度42.2%減(対平成13年度比))
- ②3R(Reduce, Reuse & Recycle)への
新たな展開⇒ごみを減らし、資源を有効活用
する「循環型社会」への展開
(「ヨコハマ3R夢(スリム)プラン」)

(2) 「循環型社会」への取り組み例

① 生ごみマイスター(生ごみ堆肥化)実証実験

概要:

生ごみを分別回収して堆肥化し、できた堆肥を地域の農家で活用する実証実験。

都筑区佐江戸町など4地域、389世帯で平成20年10月から平成23年3月まで実施(総計41.4トンの生ごみを堆肥化用に収集)。

検証結果:

- ・コストが現行の焼却処理に比し約4倍
- ・収集のコスト低減策が必要
- ・堆肥化過程での温室効果ガスの約2割増
- ・分別精度の維持(実証試験期間中の異物混入率0.9%)の難しさ
- ・堆肥化した肥料の引取先(農家)の確保の難しさ

～生ごみの資源化(堆肥化)の実証実験～

